

「緑と鳥の回廊、上町台地」の展示よせて

大阪平野の南北にのびる上町台地には、大小の緑が点在しており、いわば緑の回廊をなしています。ここNEXT21は、その緑の連なりの中に位置しています。

NEXT21の建設に先立ち、私たち日本野鳥の会も協力して、周囲の橋生や飛来している野鳥の状況を調査しました。その結果もふまえ、NEXT21の1階ガーデンや各階のテラス・屋上の植栽は、野鳥や蝶などの生き物呼び寄せ、羽を休ませる効果を考えたとりました。実際に、その後「キジバト」や「メジロ」もここで繁殖しました。

私たちの周りには多くの小さな生命が息づいています。耳を澄ませば、今も鳥たちの声が聞こえてくるかもしれません。上町台地で暮らし、また時を過ごすとき、四季を通してさまざまな自然のメッセージが伝わってくるはずです。今回の「緑と鳥の回廊、上町台地」の展示を通し、地域に広がるこうした自然の息吹を一層身近に感じていただけたら幸いです。

日本野鳥の会大阪支部

謝辞

この展示は、上町台地の緑と鳥に関する取材にご協力くださったみなさま、貴重な資料や情報を提供くださったみなさまほか、多くのご支援によって実現しているものです。心からお礼申し上げます。

協力(取材・資料提供等)：上町台地からまちを考える会、江木剛吉さん、大阪市、からほり倶楽部、酒向八智代さん、佐々木勇さん、鈴木伸廣さん、西代宮山クラブ、宮崎昌久さん、元山裕康さん、吉見孝信さん、そのほかのみなさま(50音順)

U-CoRo独案内 (ゆーころ・ひとりあんない) vol.04

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 04
「緑と鳥の回廊、上町台地」(2008.1.21～5.9)
大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階北U-CoRo

発行日 2008年1月21日
企画 U-CoRoプロジェクト・ワーキング
編集 橋本謙 / 早川厚志 / 弘本由香里 デザイン 小倉昌美 / 北浦千尋
編集協力 日本野鳥の会大阪支部
発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
大阪市中央区平野町4-1-2
印刷 (株)国際印刷出版研究所

この冊子、企画内容に関するお問合せ先 TEL:06-6205-3518(担当:CEL弘本)
※NEXT21の3階以上は非利用フロアとなっておりますので、立ち入りはご遠慮ください。

表紙写真：山茶花(サザンカ)とメジロ

独案内(ひとりあんない)＝まちや物事に不案内な人を助ける携帯便利な冊子のこと



この冊子は環境に優しい日本材紙竹パルプ60%及び製紙業連合パルプ40%を使用しています

ゆーころ・ひとりあんない

U-CoRo独案内 vol.04

NEXT21/U-CoRoウィンドウ・エキジビション 04

緑と鳥の回廊、上町台地

2008.1.21 Mon—5.9 Fri

U
CORO

ごあいさつ

遙か遙か遠い昔、はかり知れない自然の力で上町台地が誕生しました。それからどれほど多くの生き物たちが、命のドラマを繰り広げてきたことでしょう。上町台地に点々と連なる緑は、長い長い時を重ねて受け継がれてきた命の揺り籠、命の止まり木です。緑の回廊をめくりながら、鳥たちがそうささやきかけてくれます。

近未来の住まいと暮らしを探求する大阪ガス実験集合住宅NEXT21もまた、上町台地の緑の回廊につながるができるようにとの願いを込めてつくられています。そして、1993年10月の竣工以来、22種類におよぶ鳥たちがNEXT21をたずねてきてくれています。

昨春からNEXT21の1階に、まちと暮らしをつなぐウィンドウ「U-CoRo(ゆーころ)」を設け、上町台地のまつりや子どもと遊び、減災(いのちをまもる智恵)をテーマにウィンドウ・エキジビションを展開してまいりました。新春を迎えて新緑の季節まで、第4弾となる今回の展示では、まちのなかの小さな緑のスポットNEXT21から、鳥の目で「緑と鳥の回廊、上町台地」をご覧いただくことができればと願っています。

大阪ガス エネルギー・文化研究所 (CEL)

共 催：日本野鳥の会大阪支部

企 画：U-CoRo プロジェクト・ワーキング

「緑と鳥の回廊、上町台地」に関する参考図書など

今回の企画のために参考にした書籍・資料・ホームページなどをご紹介します。

● 図鑑・ガイド・報告書など

- 「大阪の野鳥」大阪自然環境保全協会(松籟社 1983)
- 「なにわ緑景ー大阪市中央区」みどり生き物会議(大阪市環境保健局 1993)
- 「バードウォッチングガイド 関西版」(財)日本野鳥の会近畿ブロック(七賢出版(株)関西事業部 1994)
- 「ハンディ図鑑 新・山野の鳥」(財)日本野鳥の会(1998)
- 「ハンディ図鑑 新・水辺の鳥」(財)日本野鳥の会(1998)
- 「大阪府鳥類目録 2001」(財)日本野鳥の会大阪支部(2002)
- 「探鳥地ガイドー関西周辺」(山と溪谷社 2002)
- 「大阪城公園の野鳥」元山裕康(2007)
- 「鳥のくちばし図鑑ーたべる・はこぶ・つくる」国松俊英、水谷高英(岩崎書店 2007)

● 随筆

- 「日本の名随筆 2 鳥」草野心平編(作品社 1983)
- 「庭にくる鳥」朝永振一郎(みすず書房 1996)

● 辞典類その他

- 「日本図誌大系 近畿」(朝倉書店 1977)
- 「角川日本地名大辞典 27 大阪府」(角川書店 1983)
- 「天王寺ー天王寺区創設80周年記念」
天王寺区創設80周年記念事業実行委員会編(2005)
- 「NEXT21ーその設計スピリッツと居住実験10年の全貌」
「NEXT21」編集委員会編(エクスナレッジ 2005)
- 日本野鳥の会大阪支部ホームページ
<http://www10.plala.or.jp/birdsosaka/>

※ U-CoRo(ゆーころ)とは、NEXT21の1階「上町台地コミュニケーション・ルーム」の愛称です。

この窓をインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを育む取り組みを少しずつ重ねていくことができればと願っています。

NEXT21と緑の回廊

キビタキ

メジロ

営巣した
メジロ

ウグイス

オオルリ

ツグミ

NEXT21全景

NEXT21では、これまでに22種類の野鳥の巣訪が確認されています。

NEXT21は、南北に細長い上町台地のやや北寄りに位置しています。この台地には、北に大阪城公園、南に天王寺公園や四天王寺の大きな緑地があります。また、松屋町筋に沿って天王寺七坂界隈と呼ばれるところにも多くの寺院に挟まれながら、崖地の緑が帯状に連なっています。また、上町筋を軸にして、東西に街区公園や多くの教育施設(学校群)の緑が散在しています。そして、街中には、大きな緑陰樹や庭先の草花の鉢などが見かけられます。これらの緑が南北につながって「緑の回廊」をつくっています。

NEXT21は、このような大きな緑から小さな花や緑までを含めて密接につながり、ネットワークをつくっています。特に、NEXT21の立体的に構成された花と緑は、大阪城公園や天王寺公園などを生育圏とする野鳥達が休息や採餌ができる重要な場として、その役割は大きなものです。また、蝶などの昆虫にとっても屋上にあるミカンなどの柑橘類が繁殖に大きな役割を果たしています。

NEXT21は、大阪城公園の緑と比べると小さな点でしかありません。しかし、上町台地にある緑のネットワークの中で暮らす野鳥などの生態系をしっかりと支える役割を果たしています。また、町並みに立体的な花と緑が季節感や潤いを感じさせる役割も果たしています。これからも、近隣の人々に愛され育てられることでその役割を果たせるのです。

(株)アトリエーツー 江木剛吉

大阪城公園は鳥たちの博物館

空を飛ぶ鳥たちの目から見ると、大阪城公園は、きっと都会の海に浮かぶ緑の小島に見えるだろうと思います。秋から冬、春から夏と、日本に向かって飛来してくる多くの渡り鳥たちは、長い旅の途上で、この緑を見つけて羽を休めに降り立ちます。

このためか、大阪城公園で年間に見られる野鳥の種類は目立って多く、私自身もこれまでの十数年間に約150種類を確認しています。

ここは言ってみれば野鳥の博物館です。冬季にはお堀にカモ類などの水鳥がやってくるし、春になると小鳥たちが樹間で飛び回ります。水辺では、時にはきれいなカワセミの姿も見られます。

しかも、鳥によっては一年の間のある時期にだけしか滞在しないこともあって、その様子は常に変化に富んでいるのです。つまり、毎日が出会いと別れの繰り返しで、その楽しみに私は魅せられて、大阪城公園に通う日々を過ごしています。

ドミニスト 元山裕康

空から見た大阪城公園(写真提供:大阪市)

上町台地、緑と鳥の回廊マップ

野鳥は緑が大好きです。都市化した大阪のなか
にあって上町台地は緑が多く見られる地域です。
また、緑の種類やそのあり方も多様です。とんと
ころにどんな緑があるか、マップを見て訪ねて
れば、さまざまな野鳥に出会えるかもしれません。

暮らした目線からも見える 上町台地の野鳥たち

営んでいる米屋の店先には昔からスズメが
集まりますが、いつもいるのではなく、配達
のトラックが来ると集まっています。どうもトラ
ックの姿形を覚えてしまっています。近くには「ス
ズメの宿」の木もありましたが、枝を短く刈
り込まれました。

ハトの姿は減りましたが、カラスは朝早く
から囀っています。どうも生ゴミを狙っているよ
うです。くちしが黄色いムシも増えました。

配達中もいろいろな鳥を見かけます。大阪城
北側の運慶川の川岸にはアンテナが立ち並
んでいるところがありまして、そこでは灰色
のサギがアンテナに集まって、魚を狙ってい
ます。道頓堀川の橋の欄干では、毎冬カワ
セミが留まっているのを見えています。

子どもたちがセミ捕りをして、店先にスズ
メが集まる様子に、引越してきた方からは
「まちなかの感じがない」と言われました。
中央区船越町・Y.Kさん、Y.Sさんご兄弟 談



都心でも聞けた ウグイスの美声

中央区に2007年春、小さなカフェを
開きました。オープン前はい頂、どこからと
もなくウグイスの鳴き声が聞こえてきました。
「まさか、まちの真ん中で」と思いましたが、
建物の裏から何度も聞こえてくる鳴き声は、
遅れない「ホーホケキョ」。ビルや家が建ち
並ぶまちなかで、どうやって暮らしているの
でしょうか。

以前は交番商店街の近くにある、古い家
屋に入っている雑貨店などに動いてしまっ
たが、ウグイスの聲は聞いたことがありませ
んでした。小さな庭には木々もあって、何種類
かの鳥は来てはいるのですが。

飯茶 上町 酒向八智代さん 談
ウグイスはNEXT21への鳥来ると確認しています。また、天王寺区南部の五条界隈でも暮先にはウグイスの鳴き声がよく聞こえそうです。



鎮守の社は 野鳥の子育て場所

玉造稻荷神社には枝がよい良いご神木や
木々がたくさん植わっており、一年を通じて
鳥の鳴き声が聞かれます。雨風が強かった次
の日は、境内に鳥の巣が落ちていることも
あり。初夏には卵が落ちるときもありまし
た。冬に葉を落とした木々の合間から、巣
がいくつも確認できます。そうしたことか
ら、境内の木々が鳥たちの子育ての場になっ
ている様子が見られます。

境内の隅には大きな池があります。そこ
には毎年正月にササギがやってきて池の鯉を
食べていきます。裏側の石段には神前に供
えるための米を育てる小さな稲田がありま
す。夏の終わりににはスズメが集った稲穂を
狙ってやっています。

鎮守の森は住み家や埋め場所を提供し、
木の実などエサも豊富なですので、玉造界隈
同様に上町台地の鳥の住む街でしょう。
玉造稻荷神社 福吉 鈴木伸さん 談



商店街でのツバメのヒナ 救出作戦

春になれば毎年ツバメが帰ってきますが、空
中の商店街でも店先やアーケード上ツバメの
巣があり、初めには人通りの多い商店街のな
かをツバメが囀り何羽も飛び交っています。

ある初夏の頃、アーケードの上のツバメ
の巣がヒナが1羽落ちそうになっている
のを買い物客や店主が見つけました。巣の
材料に引っかかっているようで、下まで落ち
てはこないのですが、落ちかかっているため、
エサも食べられないようでした。みんなで近
くの消防署に相談に行くと、なんとではし
こ車で救出に来てくれました。うまくアーム
を伸ばしてヒナは救い出されましたが、残念
ながらすでに卵に孵っていました。

付近は兎物車一杯になりました。昔ながら
の近所づきあいも残る、人情あふれる町な
らでのエピソードとしても覚えていきます。
中央区谷町7丁目・宮崎健久さん 談

※地図中の野鳥の姿は、季節によって、付近にその鳥が
来ると見られる可能性を示しています。
※参考資料
『なごみ緑豊 -大阪中環央(中央区)まで生き生きする大阪市-
環境緑地計画(2003)』(大田 正、天王寺区環境緑地計画)』
天王寺区創設20周年記念事業実行委員会編(2005)116P

上町台地で出会えるかもしれない 野鳥ミニ図鑑(他頁掲載のものは省略)



日本野鳥の会 大阪支部
自然と人の共存を目指す自然保護団体。日本野鳥の会
の大阪支部事務所は、NEXT21の1階にあります。
大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階
電話 06-6766-0055
FAX 06-6766-0056
事務所開館日
毎週 火・金・日曜日 10:00~17:00
※ただし(祝日・年初・年末)は休館。
※お問い合わせは電話・FAXでお願ひします。
ホームページ <http://www.10.plala.or.jp/birds/osa/>

野鳥写真提供：佐々木勇氏